

ほけんだより

札幌市立新川小学校 保健室

早いもので、あと1か月で今年も終わります。今年もたくさんの方が延期や中止になってしまいました。それでも、子どもたちができる範囲が限られている中でも一生懸命に活動する様子にはたくましさも感じました。来年は少しでも活動できる範囲が広がる世の中になることを祈っています。



冬は暖かい服装を！



今年度も学校では冬の間も換気を行うこととなります。新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した事例では換気不足が指摘されているものもありますので、換気をしないわけにはいかない状況です。寒い中での換気になりますので、お子さんには暖かい服装をさせて登校させてください。

首・手首・足首が冷えると体全体が冷えます。厚手の靴下や、襟ぐりの狭いふくなど、3つの首が冷えないような服装をさせてください。



自分で室温に合わせて脱いだり着たりできるように、重ね着をさせてください。重ね着は空気の層ができて暖くなる効果もあります。



寒さ対策のために、ひざ掛けやカイロを持ってきてもよいです。お子さんが寒さに自分で対応できるようご準備をお願いいたします。

ご協力よろしく
お願いいたします。



医療券の発行について

就学援助を受けている方（要保護・準要保護の認定を受けている方）で、冬休み中に医療券を使用する予定がある場合は、冬休み中は受付ができませんので、お早目にお申し込みください。（終業式の2～3日前までをお願いいたします。）

スポーツ振興センターの手続きについて

学校でけがをして病院を受診した時に、診療報酬点数が500点以上だった場合、スポーツ振興センターから医療費の給付を受けることができます。提出は任意ですが、申請しようと思っていて、書類をもらっているのにまだ申請されていない方は、保健室までご提出ください。なお、給付金がおおりるまでは数か月かかりますので、ご了承ください。

2学期の保健室

※8/18～11/30まで



内科
293人

外科
451人



内科は頭痛、腹痛の訴えが多かったです。少し休んで良くなるものも多かったのですが、コロナ対策のため、保健室での休養時間を長くとれないこと、熱がなくても回復しない場合は早退の判断をせざるを得ないことで、早退になってしまうケースも多くありました。

外科は、打撲、すり傷が多かったです。1学期は登校時に転倒しけがをする児童が多かったのですが、2学期はだいぶ減りました。ただ、未だに登校時に走って転んでしまったというけががあります。道路も滑りやすくなってきますので、ご家庭でも登下校時は歩くよう声掛けをお願いいたします。



多様な性について

考えてみませんか？

先日、研修会で、「多様な性」についてのお話を聞きました。セクシャルマイノリティ(同性愛や性同一性障害など)の人は約5～8%(40人いれば2～3人)いると言われていたそうで、ごく身近に悩んでいる人がいるかもしれません。研修でお聞きした話を少しですが、ご紹介します。

セクシュアリティは「性のあり方」4つの軸で考えることができます。

- こころの性(性自認・性同一性):どの性別にアイデンティティを持つかを表す。
- からだの性(生物学的性):染色体、内外性器の状態などの性別を表す。
- 好きになる性(性的指向):どの性別を恋愛の対象とするかを表す。
- 表現する性(性表現):服装や行動、振る舞いなどからみる「社会的な性別」を表す。

からだの性とこころの性が違う人、同性を好きになる人、同性・異性どちらも恋愛対象になる人・ならない人、こころの性が男女どちらでもない・決められない人など、セクシュアリティは多様にあります。

相談された時は・・・

- ①聴く:安心できる環境を作り、傾聴すること。「話してくれてありがとう」
 - ②いっしょに考える:困っていることに対して、できる対応を考える。
 - ③つなげる:必要に応じて、相談機関や自助団体など利用する。
- ※病気ではないので、必ずしも相談しなければいけないわけではありません。

2つの「ナイ」

- ①決めつけない:「思い過ごしじゃない?」など否定したり、「それは～だよ」と決定を促したりしない。何かに当てはめようとせず、その子をそのまま受け止める。
- ②広めない:本人の了承を得ずに、他の人へ話すことはしない。必要な場合は、話してよい範囲を本人に確認し、了承を得ることが望ましい。

ある調査では性同一性障害の人が性別違和感を自覚し始めた時期は、小学校入学前までが56.6%、小学校卒業までは80%という結果だったそうです。これから先の人生を本人が自分らしく生きていると思えるように、まずは気持ちを否定することなく聴いてあげることが大切だと思います。学校生活の中で、性別への違和感によって困っていることがあるという話を聞いた場合は、遠慮なくご相談ください。

札幌市ではLGBTに関する相談窓口があります。相談できる人は、本人やその身近な人など、誰でも相談できます。話した内容が外部に漏れることはありません。

LGBT ほっとライン:毎週木曜日 16:00～20:00 TEL:011-728-2216